

一人一票
— 地方の声は国に届くか？

国の方針を決めるには
— 地方の声をどうする？



広島大学法科大学院 教授

新井 誠

広島大学大学院法務研究科教授（憲法）。
研究テーマは議会制や選挙制度など。
共著として、『憲法Ⅰ 総論・統治』、『憲法Ⅱ 人権』
（共に、日本評論社、2016年）など。
合区問題との関連では、『議会上院の選挙制度構想
— 参議院議員選挙区選挙の合区解消に向けた一考
察—』法学研究91巻1号（2018年）など。



「一人一票」
原則こそ公正

弁護士 伊藤 真



弁護士・日弁連憲法問題対策本部副本部長。
日本国憲法の理念を伝える伝道師として、講演・執筆
活動を精力的に行う。弁護士として、「1人1票実現運
動と裁判」や「安保法制違憲訴訟」で奮闘中。NHK
「日曜討論」「仕事のすすめ」等マスコミなどにも多
数登場。専門書、一般書著書多数。

近年、参議院議員選挙について、選挙区ごとの一票の格差が大きく「一人一票」原則に違反するとして、数多くの選挙無効訴訟が提起されています。他方、「合区」制度はこの一票の格差を緩和するものといえますが、合区された自治体の有権者を中心に「地方の声が国に届かないのでは」といった不満の声も上がっています。

そこで、「一票の格差」をめぐる憲法問題を通して、「全国民の代表」とは何か、選挙制度も含めてどのようにして決めた国会意思に正統性が認められるのかを、皆さんとともに考えるために、専門家の方に徹底討論していただきます！

日時 1/25 ±
13:30~16:30 (予定)

場所 パレブラン高志会館
カルチャーホール
〒930-0018 富山県富山市千歳町1丁目3-1

主催 富山県弁護士会

共催 日本弁護士連合会 中部弁護士会連合会
後援 金沢弁護士会 福井弁護士会

お問合せ先 076-421-4811



パレブラン
高志会館

入場無料
申込不要